

10月18日第27回やつしろ全国花火競技大会  
(熊本県八代市にて開催)  
ミュージック花火「Spiritual」  
(紅屋青木煙火店)

ローカルに生きる人たちを写真でつなぐフリーペーパー

Free Paper 101  
いちまるいち

Vol.25

2014.10.28 発行

無料



Artist Selection 藤原右裕 (2~5面)

がんばれ! 回一カル線 (6~9面)  
松浦鉄道  
西九州線





**藤原右裕**  
Yusuke Fujihara

## Mc101 Artist Selection

Mc101 でライブ撮影を行っている、  
おすすめのアーティストさんをご紹介します。

主な出演会場 :KAZOO HALL (甲府)、  
ハーバーズミル (甲府)、LOOP ANNEX (渋谷)、  
HOME (渋谷)、四谷天窓 (高田馬場)  
UHU (静岡) ほか、東京・山梨・長野中心に出演多数

公式サイト (QR コード左):  
 <http://yusuke-fujihara.blogspot.jp/>  
ブログ「ゆうすけ日記」(QR コード右):  
 <http://ameblo.jp/migisuke/>

### ◀甲府コンピクシオンにて 2014.-9.-6 撮影

今回の Artist Selection は、山梨出身・東京を拠点に活動されている、調理師、栄養士兼シンガーソングライターというマルチな才能を持ちの藤原右裕 (ふじはらゆうすけ) さん。

個人的な出会いは2012年6月の東北HAPPY HOLIDAY。つまり仙台。リハーサルで「おはな おはな」を聴いて、リズムの良さに直感で惹きこまれました。少し間があいて2回目は秩父、3回目は甲府。4回目はやっと東京は吉祥寺。この状況が既に、藤原さんの活動範囲の広さを物語ってると言えます。

出身地の山梨も東京から割と近いこともあって、頻繁にライブをされています。

11月29日には蕪崎でホールワンマンコンサートを開催予定。(詳細5面) 地元を大切に活動する姿勢、心から応援したいと思い、ここに紹介します。いつもの質問からどうぞ。

### Q1. あなたの「人として」の「こだわり」は何ですか？

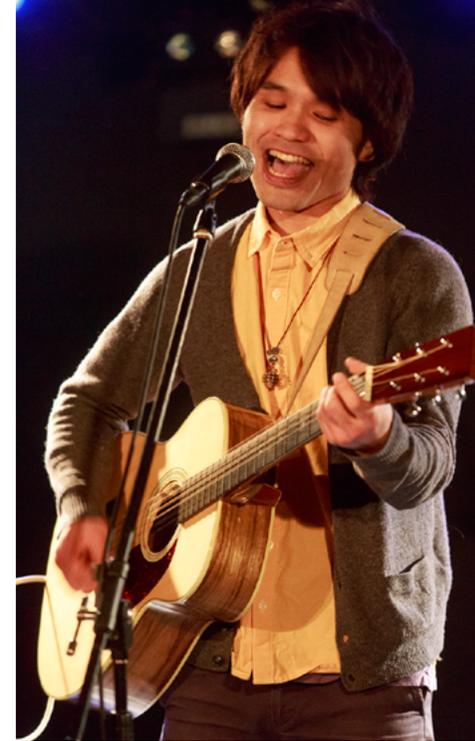
「思い立ったら吉日」です。  
とにかく考えたことは有言でも不言でも実行するように心がけています。  
やらないで後悔したくないし、極端な言い方だといつ死んでもいいように生きてますね。笑

とにかく何でもやっちゃうし、言わなきゃと思ったことはちゃんと言います。  
生き急いでいるように見えるらしく、周りからは心配されることが多いです。笑  
あとは最近「感謝」とか「恩返し」ですね。ベタですけど。

辛いことや嫌なことは生きてたら多いです、そっちにばかり目がいきがちですけど、助けてくれる人や支えてくれる人はちゃんとして。そういう人たちから受けた恩は何かしらで必ず返すよう心がけています。それは本人だったり、後輩へ繋いでいたり。色んな形でですが。

### Q2. あなたの「ミュージシャンとして」の「こだわり」は何ですか？

「無敵」「毎回最高記録更新」「一期一会」ですね。  
この言葉は必ずライブ前に心の中で唱えています。  
僕はミュージシャンとしてやっぱりライブが大好きだし、とても大事にしています。  
ステージに立つ以上、自分の音楽が誰より「無敵」でみんなにちゃんと届くこと。  
「毎回最高記録更新」はいつだって何かに挑戦していて、前回のライブはもちろん一秒前の自分を越えていくこと。  
「一期一会」はライブは人と人との繋がりだと思ってます。出演者同士やスタッフ、お客さんみんなですね。その時その時の縁を大事にしています。



▲ ladder ladder (秩父) にて  
2014.-2.21 撮影

### 【CD】ミニアルバム「HOME」

2012年8月7日発売、7曲入 1000円、ライブ会場限定発売

- 1.Circle
- 2.HEARTLAND
- 3.よっちゃばっていこうぜ
- 4.恋の始まり
- 5.走るのは君がいるから
- 6.HOME
- 7.peace street

※12月7日2ndアルバム「さよならブルー」発売予定、同日、渋谷 LOOP annex でレコ発イベント開催





### Q3. 読者の皆様に何かありましたらお願いします。

現在、26歳で音楽活動を始めて6年になりました。

25～26歳と辛いことや嫌なことがすご多かったのですが、そんな中で支えてくれる人たちの存在だったり、帰れる場所があることを音楽を通して身に染みしました。僕のライブが自分にとって、みんなにとっても帰れる場所になってくれたらと思ってライブをしています。

特に僕は地元山梨県が大好きで上京後も定期的に帰ってライブ活動を続けています。活動のなかで、地元に対して熱い思いを持っている人たちも多く自分にとって本当に帰る場所である地元山梨県をもっと盛り上げていきたい、改めて地元から発信していきたいという気持ちが強くなりました。

そこで2014年11月29日に蕪崎文化ホールを個人で貸しきってワンマンライブすることを決めました。

たった一人で歌います。シンプルな形でたくさんの人に歌や姿から何か感じてもらえたら嬉しいです。山梨県というなじみがない人の多い土地だとは思いますが、ご来場お待ちしております！

もちろん東京やその他地方でのライブも欠かさず行っています！

いつも聴いてくれるみんな会いに行くのが楽しみな場所ばかりです。待っているんじゃなくて自分から会いに行くような音楽活動をこれからも続けていきますので、よろしくをお願いします！

▲吉祥寺曼荼羅にて 2014.10.-1 撮影

【今後のライブ予定】最新情報及び詳細は Web サイトまたはブログでご確認ください。

- 10月29日(水) 静岡 UHU (主催イベント「右向け右 in 静岡 Vol.8」) 11月7日(金) 下北沢 mona records
- 11月8日(土) 山梨 小瀬スポーツ公園 (農林業祭り) 11月9日(日) 長岡 ギャラリー沙蔵
- 11月10日(月) 高田馬場 四谷天窓 (ホールワンマン応援企画) 11月12日(水) 長野 飛雷針
- 11月13日(木) 塩尻 BAR ON THE ROAD 11月14日(金) 甲府 ハーバーズミル (主催イベント「右向け右 Vol.9」)
- 11月15日(土) 甲府 ハーバーズミル 11月28日(金) 甲府 小さなスプーン Cafe キュイエール
- 11月29日(土) 東京エレクトロン蕪崎文化ホール (ワンマンコンサート：次頁にポスター内容を藤原さん承諾のもと掲載。)
- 12月7日(日) 渋谷 LOOP annex (2nd Album「さよならブルー」レコ発「右向け右 Vol.10」)



# 2014.11.29(sat)

## 藤原 右裕 コンサート at 東京エレクトロン蕪崎文化ホール

東京エレクトロン蕪崎文化ホール 小ホール

OPEN 18:00 / START 18:30  
前売 ¥2,500 / 当日 ¥3,000

※全席指定

チケットのお求めはライブ会場、または [yusukefujihara@gmail.com](mailto:yusukefujihara@gmail.com) まで

事務所にもレーベルにも無所属  
完全個人で地元のホールを貸し切って  
たったひとりで歌うワンマンライブ！

# がんばれ！ローカル線

## 第12回

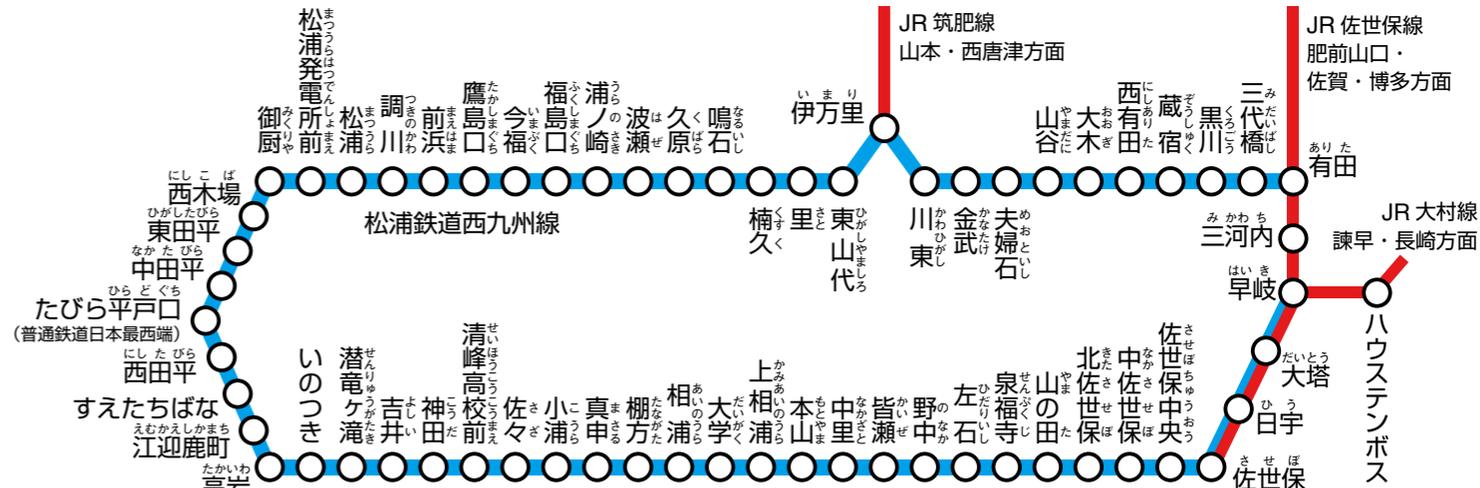
# 松浦鉄道西九州線

Matsuura Railway Nishi-Kyushu Line



鷹島口～前浜間にて 2014-9.28 撮影

「がんばれ！ローカル線」第12回は松浦鉄道西九州線です。佐賀県と長崎県に跨り、北松浦半島をぐるっと囲む形で走っています。平戸島への玄関口となる たびら平戸口駅が、モノレールを除く普通鉄道では日本最西端の駅となります。平成元年にJR九州松浦線から転換、地元ではMRの愛称で親しまれているようです。既に開業以来の車両は姿を消し、平成18年から投入された「肥前WEST LINER」ことMR-600形気動車が主力となっています。半島部を走るだけに、海・川を中心とした水の風景に恵まれています。また、登録有形文化財に指定されたアーチ橋（いわゆるめがね橋）が同じ駅間（潜竜ヶ滝～吉井間）に3つあります。そういった美しい風景を中心に次頁ではご覧頂きたいと思います。



朝1往復 JR 佐世保線早岐まで直通運転



伊万里を境に運転系統は分割。伊万里～有田間で折り返し運転。川東～伊万里間にて 2014-9.28 撮影



日本最短駅間 (200m) を行く  
中佐世保～佐世保中央間にて  
2014.-9.29 撮影



相浦～大学間にて  
2014.-9.28 撮影



「ハッピートレイン」MR-609  
江迎鹿町～高岩間にて  
2014.-9.29 撮影



すえたちばな～江迎鹿町間にて  
2014.-9.29 撮影



同駅間に3つある「めがね橋」の一つ、吉井川橋梁  
潜竜ヶ滝～吉井間にて  
2013.-9.23 撮影



朝早い時間のみ順光、福井川橋梁  
潜竜ヶ滝～吉井間にて  
2014.-9.29 撮影



現在最古参、1両のみ在籍、MR-400形  
すえたちばな～江迎鹿町間にて  
2013.-9.23 撮影



イベント用レトロ風車両、MR-600形  
たびら平戸駅にて  
2013.-9.22 撮影

Live Report

# カ山哲也ワンマンライブ

## Live! Love!! Laugh!!!

10月12日(日)、Heaven's Rock 熊谷 VJ-1にて開催

カ山哲也さん

埼玉県本庄市出身、熊谷を中心とした埼玉県北部を基盤に活躍するシンガーソングライター、カ山哲也さんの初ワンマンライブが行われました。9年間音楽活動を続けて来て、特に熊谷駅前でのストリートライブで多くの人に会ったということで、熊谷への恩返しの意味も込めたヘブンズロックでのワンマン。

サポートでパーカッションに本紙配布で大変お世話になっている宇野元英さん、ピアノは加納千恵理さん、普段弾き語り中心の楽曲に彩を添えていました。

スペシャルゲストは大御所、中西圭三さん。カ山さんも所属する、農業合唱団ナレッジステابلシンガーズと共に作成されたCD「We know 愛農」が10月8日にリリースされました。このCDは今年2月の大雪で被害にあった農家の皆さんを支援するチャリティCDとなっていて、1枚1000円です。この日はカップリングの「LIFE」を皆さんで演奏しました。

地域と共に生きる熱い魂を持った男、これからも応援しましょう。

スペシャルゲスト・中西圭三さんと ナレッジステابلシンガーズの皆さんと



連載コラム  
東京発

## トーキョー水紀行 ～玉川上水編～

第4回 ラバーズレーン  
Writer: T.T



Lover's Lane...

要するに『恋人たちの小径』  
そんなネーミングの場所が玉川上水にあります。明確な決まりは無いのですが、だいたい小平市内の津田塾大学と一橋大学のあたりを流れる区間のことを言っているらしい... とはいえ、自分は津田塾大も一橋大も受験資格が(事実上)なかったわけで、ネーミングの真相を確認したこともないですし、ましてやここでデートした経験も無いのですが。(苦笑)

秋の休日、初めて現地に行ってみました。  
天気の良い日とは言え大学も休み、デートしてる人たちなんているのか... と思ってましたが、ちらほらカップルもいて、いい雰囲気。木々が直射日光を柔らかくしてくれるし、



アスファルトの道じゃないし、アップダウンがあるわけじゃないし、たま～にベンチもあるし、在校生なら大学のすぐ近くだし、2人で歩くのにはいい所、ということを感じました。ちょうど時期が時期で、ベンチの脇に



蔓珠沙華も咲いて... ちなみに蔓珠沙華の花言葉は『情熱』『独立』『再会』『あきらめ』って、ちょっと微妙だけど。



そんな Lover's Lane の中間に、「玉川上水立坑」なんて無粋な建物があるのはご愛敬。ドアに「列車通過中扉の開閉注意」なんて書いてるけど、なんで列車通過中とか書いてあるのか意味のわからない人が多いかもしれないですね。



● T.T / こうの氏と同級生。のりものとうまいものと時代劇と土木を愛するちゃきちゃきの江戸っ子。

私、熊谷八郎が地元・埼玉県熊谷市の気になるところ、お気に入りの場所や店、人を紹介するこの「熊谷発見伝」も今回で4回目となりました。さて、そろそろココを紹介しなくては、ということで今回は「かめの道」を紹介します！



まず、「かめの道」とはなんぞや？ですが、その昔、熊谷市と旧妻沼町（現・熊谷市妻沼地区）をつなぐ「東武熊谷線」という路線がありました（通称：妻沼線）。詳しくは、本誌代表の河野さんに聞いてください（笑）簡単にご説明いたします

と、昭和18～58年の40年間使われていた廃線の一部を細長い公園として整備し、この路線を走っていた列車が「のろま線のカメ号」という呼び名で親しまれていたことから、「かめの道」と名付けられたようです。

赤城町のスタート地点（秩父鉄道・上熊谷駅近く）から、第2北大通り（熊谷農業高校実習農場あたり）まで約1.7kmの「かめの道」ですが、いざ歩いてみると、途中でJR高崎線が横切っているため、回り道しないといけないという事態に。個人的には、歩道橋か何かでそのまま真っ直ぐ渡れたらいいのにと思いました。が、それはそれで危ないか。もう1つ残念だったのが、実際歩いてみて結構楽しかったんですが、私が歩いた日が暑かったせいか、人っ子一人、公園内を歩いていたこと。もったいない！！あ、でも、もしかしたら、朝のウォーキングとかで早朝は賑わっているのかも。今度、行ってみよう！



発見！

「かめの道」というだけあって、ところどころにカメのオブジェがあります。

また、踏切の小さいやつや「かめ号」と書かれた休憩所なんかもあって、なにげに面白いです。でも、私が一番嬉しかったのは、最終地点あたりで、熊谷農業高校の女生徒から「こんにちは！」と声を掛けられたことです。「かめの道」のすぐ外側の農場で草むしりをしているようでした。久々（といっても約1時間ぶり）に人と出会って、しかも、可愛い女子高生から清々しい挨拶をもらえるなんて・・・かめの道、最高です！！（笑）

その①・その②は「松尾鉱山」について、その③は「廃墟の歴史」について綴ってきましたが、今回は副題が「そこに残されたものたち」ということで、松尾鉱山の緑ヶ丘アパート跡に残されたものについて焦点を当ててみたいと思います。

その①・その②で取り上げたように松尾鉱山では厳しいながらも温かな家庭生活が、人々の営みがそこにあったことを当時のニュース映画や新聞、当時撮られた写真、社報などからうかがい知ることができます。

また建物を探索してみると生活に使われていた食器、おちょこ、フライパン、焼き網、洗濯機、炊飯ジャーなどの生活用具。テレビラジオ、ステレオなどの電化製品。今は廃業してしまった酒蔵のお酒や、トリスウィスキーや今も変わらないデザインのサントリー角瓶、当時は輸入品だったネスカフェのインスタントコーヒーなどの嗜好品。型紙つきの婦人雑誌や、漫画雑誌、新聞や本などの書籍類。野球盤やそり、スキー、ゴムまりなどの子供の遊び道具やテストの答案など様々なものが残されています。

今回はその一部ですが、写真でご覧いただければと思います。



10月に入り、あなたがこれを読む頃には稲城の梨はちょうど終わっている頃でしょう。

今年は梨をお店で出していたせいもあり、品種と時期が少しわかりました。

稲城で取れるのは8月下旬より「いなぎ」→「秋月」、「福水」→「新高」と10月初旬まで取れるようです。

さて11月1日は「いなぎ音楽祭」でございます。

地域にミュージシャンが関わると3世代がつながる！というコンセプトのもと今年春から動いてきました。実際動いてみると市内には地主さんも多く、ひとつ屋根の下で3世代もしくはすぐ近くに住んでいていつでもつながれる状態の家庭も多いのだなと感じました。

それではやる意味がないのかということでもありません。それを改めて認識し分か合う事も必要だと思います。

そこに稲城在住じゃない人たちが集まったって良い。「こういうのってなんか良いよな」って思えたならまたなにか変わるきっかけになるかもしれない。

世代の話はこの街だけの問題ではないなと思ってます。

音楽にはそれをつないでいける可能性があるなと感じます。この想いを共感し持ち帰っていただけたらと思います。

ぜひ「ひじり、見に行くよ、見に行ったよ。感じたよ。伝わったよ。」の声を待っております。

11月1日、若葉台i(アイ)プラザホールでお会いしましょう。

**いなぎ音楽祭 ～みんなで歌おう♪ い～な稲城～**  
**【日時】** 2014年11月1日(土) 開場 16:30 開演 17:00  
**【開場】** 稲城市立iプラザホール(京王相模原線若葉台駅前)  
**【出演】** 花枝聖と稲城の森バンド/きしのりこ/龍井一磨/蓮音まゆ/etc....  
**【料金】** 前売り券 大人 2000円、子供(小学生以下) 1000円  
 当日券 大人 2500円、子供(小学生以下) 1500円  
**【チケット販売・問い合わせ】** green world cafe 042-379-8042



▲ 2014年7月12日 同会場(iプラザホール)で開催した「満月の宴 キャンドルナイト」の様子。  
 11月1日の「いなぎ音楽祭」では各出演者とも豪華なバンド編成での出演となります。

●花枝聖：シンガーソングライター 兼 京王よみうりランド駅前・green world cafe オーナー

【制作・配布ご協力店舗】



## green world cafe

京王よみうりランド駅下車、改札出てすぐ右、徒歩0分

〒206-0812 東京都稲城市矢野口2208 ステーションサイドビル栗山2F

Tel: 042-379-8042

営業時間 11時～16時、18時30分～22時30分、定休日月曜日(月曜が祝日の場合は翌火曜日)  
 自然と音楽で盛り上がる基地 cafe。週末を中心にライブを開催しています。  
 スケジュールは Web サイト <http://green-world-cafe.com/> にてご確認ください。



【お知らせ】11月6日までの間、火・水・木曜日の夜(18時30分～22時30分)の営業はお休みとなります。

## 今後もフリーペーパー101の発行を続けるための、大事なお知らせ

おかげさまでフリーペーパー101、前身のCTIN Pressから通算しまして、25号の発行を重ねることが出来ました。

日頃よりご愛顧いただいている読者の皆様、編集・配布にご協力いただいている皆様、スポンサー店舗の皆様には厚く御礼申し上げます。

さて、このフリーペーパー101、フリーと申し上げる以上、配布は無料にて行っておりますが、発行にかかる費用、主に印刷代となりますが、約2割強をスポンサー2店舗様にご負担いただき、残りは私、河野の自己負担となっております。

ここまで3年間、上記またはこれに近い状態で続けてまいりましたが、正直、サラリーマンの給料から持ち出しで続けていくには限界を感じています。

しかし、このフリーペーパーを発行することによる皆様とのご縁は何にも代え難いものであり、Mc101こと私、河野

の活動基盤として可能な限り続けていきたいものです。

ここからお願いとなりますが、次号より制作費につきまして、Motion Gallery様のクラウドファンディングサービスを利用しまして、皆様のお気持ちを頂ければと考えております。本紙そのものはフリーの名のもと、無料で配布を続けてまいります。ご負担頂く金額に応じ、例えば花火の写真、ポストカードなど、お礼の品と共に本紙をお届けします。

ご負担額は最低500円から任意で選択頂く予定です。

現在、Motion Gallery様のWebサイト掲載に向け、準備を進めております。11月中旬以降、Mc101のWebサイト <http://mc101.jp/> にて詳細を発表しますので、ご覧頂いた上で、あたたかいご支援何卒よろしくお願いいたします。

フリーペーパー101 発行者 Mc101 河野拓



## Design Festa Vol.40 出展します。

【日時】 2014年11月8日(土)・9日(日) 11時～19時

【場所】 東京ビッグサイト西ホール、Mc101のブースはB-124.125

【入場料】 1日券前売800円、当日1000円、両日券前売1500円、当日1800円  
前売券は各コンビニ・プレイガイド、デザインフェスタギャラリー原宿ほかで販売

【展示内容】 Mc101のブースでは今年撮影した花火写真を展示します。

他、アートと類されるものなら何でもあり、様々な展示があります。

イベント詳細→ <http://designfesta.com/>

◀参考写真：8月16日(土)第24回赤川花火大会(山形県鶴岡市)

「希望の光」二尺玉「三重芯菊先紅銀乱」(有)伊那火工堀内煙火店

### 配布で協力店大募集!!

フリーペーパー「101」は、カフェ、ライブハウス、ギャラリーなどを訪れるお客様に気軽にご覧頂けるフリーペーパーを目指しています。現時点ではこれといった御礼も出来ませんが(せめてお名前だけでも紙面で紹介させていただきます)、配布にご協力頂けるお店の方もしくはアーティスト様、何卒、メール、Twitterで、あるいは直接お会いしたときなどお声掛け頂きたい、宜しくお願い致します。

【Vol.24 配布で協力ありがとうございます。】(順不同) ★牛たん 炭焼 利久 東七番丁店様(宮城県仙台市) ★green world cafe 様(東京都稲城市)  
★ホシカワカフェ様(埼玉県熊谷市) ★恵比寿天窓.switch 様(東京都渋谷区) ★赤坂 Graffiti 様(東京都港区) ★代官山 NOMAD 様(東京都渋谷区)  
★幡ヶ谷 36°5 様(東京都渋谷区) ★真昼の月夜の太陽様(東京都新宿区) ★デザイン・フェスタ・ギャラリー原宿様(東京都渋谷区)  
★Free Ride Cafe 様(愛知県半田市) ★八木橋百貨店様(埼玉県熊谷市) ★堀内製菓様(埼玉県熊谷市) ★梅林堂様(埼玉県熊谷市)  
★梅月堂様(埼玉県熊谷市妻沼) ★すみれ食堂様(埼玉県熊谷市) ★cafe NINOKURA 様(埼玉県本庄市) ★leaf room 様(東京都世田谷区)  
★Tiki-Poto 様(宮城県仙台市) ★相模の風 THE めをと様 ★宇野元英様 ★Caroco 様

ローカルに生きる人たちの写真をつなぐ

Mc101について

鉄道・音楽ライブ・花火などを中心に写真撮影・展示を行っています。地域に根差して活動する人たちに応援しています。「Mc101」は私の原点である国鉄(現JR)101系電車への敬意を込めての名称です。McはManiac Cameraworksの略ですが、モーターと運転台を共に有する制御電動車(クモハ)を意味する略号でもあります。



### あとかき

まず、予定より発行が大幅に遅れたことをお詫び申し上げます。  
また、Vol.24のCDプレゼントは、残念ながら応募がありませんでした。  
前頁にも記しましたが、こういった「生活必需でないもの」の維持、どんなジャンルでもある話だとは思いますが、皆様のお気持ちを頂ければ大変ありがたいと思います。現時点では写真等のプレゼントをお礼とする予定ですが、将来はイベント開催などへの発展も視野に入れられればと考えています。次号 Vol.26は12月15日頃発行予定です。

フリーペーパー 101 Vol.25

平成26年10月28日発行

発行: Mc101 河野拓

E-mail: mc101@mc101.jp

<http://mc101.jp/> Twitter: @mc101\_jp